

人間開発学部創設10年
社会の期待に
新たな挑戦

国学院大学は今年度、人間開発学部の創設10年という節目の年を迎えた。「人間力の育成」という社会の要請を受けて設置された人間開発学部は、神道精神の「主体性を保持した寛容性と謙虚さ」という国学院大学の建学の精神に基づく伝統文化教育を基盤に据え、これまでに1561人の卒業生を輩出。「人づくりのプロ」として、教育界を筆頭に多くの人材が活躍している。

師範教育をはじめとする明治期以来の教員養成の伝統と実績を持つ国学院大学は、「教職の国学院」と呼ばれるほどの定評を博している。その中で教育学系学部として設けられた人間開発学部はこの10年、地域教育ボランティアの一種である「教育インターンシップ」プログラムを他に先駆けて導入するなど学際的、実践的な学びの場として発展を遂げてきた。

一方、時代は大きく変化し、知識の蓄積よりも、知識や情報を活用する能力、そして自らの資質を発揮できる力を養うことがより求められるようになってきている。さらに、少子高齢化が今後、一層進むことが予想され、子どもの教育、高齢者の健康維持などの課題に貢献する人間開発学部への期待がより高まることは確実といえる。

10年の歩みを次の10年に、いかにつなげるか。人間開発学部の新たな挑戦が始まる。

〔6・7面に関連記事〕



人間開発学部の田沼茂紀学部長(中央)を囲む学部生たち

人間開発学部創設10年に
思うこと

人間開発学部長 田沼茂紀

平成21年に新設された人間開発学部は、今年度で10年を迎えることとなりました。その間、教員相互が力を合わせて新学部の理念である「人づくりのプロを育てる」ことを目指してひた向きに努力を積み重ねてまいりました。また、その過程では「教職の国学院」を自分たちの手で支えていかなければならないという熱き思いと気概を教員と学生とが一体となって共有し合い、学部の歴史を刻み続けて来られたことも何にも替え難い財産でした。この間、学内、学外を問わず多くの皆さまより親身かつ惜しみないご支援をたまわりましたこと、学部長として衷心より御礼申し上げます。次第です。

さて、今後ますます多様化・グローバル化する現代社会を視座しつつこの10年間の振り返ると、人間開発学部創設時からの思いである頑張ることを応援する「未来志向の人づくり学部」という教育風土は間違いないと醸成され、根付いてきたことを自負します。

ています。なぜなら、子育て支援の専門家である保育者養成、学校教育支援の専門家である教員養成、人の一生涯にわたる健康生活支援を担うスポーツ・健康生活支援専門リーダーなどの育成という、まさに人の一生に寄り添う「人を支える人となる」ことにこだわり続けた人材育成の10年間であったからです。多くの学生たちが社会へ巣立ち、それぞれの専門世界の最先端で人間開発学部生として学んだ誇りを胸に頑張りを続けてくれています。その一人一人の卒業生の姿こそ、人間開発学部が積み上げてきた歴史と実績そのものに違いありません。

学部創設10年を迎えるにあたり、11月10日に卒業生や学部に関わりのある方々をお招きし、記念行事と祝賀会を開催いたします。大勢の方々にご臨席をまわりたくご案内させていただきます。また、その記念事業に向けた募金活動も展開させていただきますので、引き続きのご支援をよろしくお願い申し上げます。

みはるかすもの

少し気が早い話だが、まもなく各地の海水浴場がにぎわう季節がやってくる。島国に生まれ育つ日本人にとって海は身近ではあるが、海洋汚染の実態には知らないことも多い▼6月初旬、タイ南部で死んだクジラの胃から重さ8キロを超すポリ袋が見つかったという報道が流れた。小型クジラが弱って漂流しているのを発見し、獣医師らが介抱したが、数日後、ポリ袋5枚を吐き出した末に息絶えた。胃の中には大小80枚以上のポリ袋があったという▼海に投棄されたり、川から流出したりしたプラスチックごみは、その場で沈むか潮に流される。それらの大半は、最終的に「太平洋ゴミベルト」と呼ばれる大きな海域へと運ばれ

る。その大きさは、日本の面積の4倍以上といわれる▼生き物たちは漁網に絡まって命を落としたり、細かいプラスチックゴミを食べて健康を害すだけでなく、有害物質を蓄積し回り回って我々の食卓にも害が及ぶ▼米国加州マリブでは、今月から使い捨てプラスチックストローが使用禁止になった。きっかけはカメの鼻にストローが刺さった動画が拡散したことだという。代替品には紙製やパスタが使われる。同様の動きは台湾で来年から始まるほか、欧州でも検討が進む▼ストローに限らず使い捨てプラスチック製品は身の回りにあふれている。同種の規制が国内にも課せられるかもしれないが、これまでも増え続けるゴミから目をそらすことなく、これまで享受してきた簡単、便利から離れられるかは海の生き物から突き付けられた喫緊の課題だといえるだろう。

彬子女王殿下と学生が田植え 新潟での米作り3年目に



日本の歴史と伝統を育んできた米づくりの大切さを学ぼうと、自然栽培に取り組む農家の協力を得て、新潟市北区の大月地区で5月20日、学生約30人が田植えなどを体験する「新潟コメ作りワークショップ」が行われた。田植えには、本学特別招聘教授の彬子女王殿下も参加され、「昔の農家の苦労を感じたり、日本人とお米の関係について考えるきっかけになると思います」と述べられた。ワークショップは、彬子女王殿下が総裁を務められる日本文化を

伝承する団体「心游舎」が主催しており、今年で3年目を迎えた。この日、学生たちは班ごとに分かれて、農家の人のアドバイスを受けながら、初夏の陽気の中を2時間ほど作業に従事した。素足を田んぼの泥に入れた学生たちからは、たちまち「冷たい!」という声とともに歓声が上がった。作業後は班ごとに振り返り学習が行われ、学生たちの間に活発な意見が飛び交った。

昨年のワークショップにも参加したという吉田絢香さん（神文2）は「昨年よりも泥自体に愛着がわいて、より気持ちよくなった」と話した。

また、初参加の田尾将仁さん（史3）は「自分で一つずつ植えていくというのは貴重で良い経験になった」。升山顕耀さん（神文4）も「農家の人からいろいろ話を聞くことができ、自然栽培について考えるきっかけになった」と満足そうだった。

今後は夏に草刈りが行われ、9月には稲刈りが行われる。収穫されたコメの一部は神社に奉納される予定だ。

7氏に名誉教授の称号授与

本学は、平成30年3月に退職した7人の元教授に、同年4月1日付で名誉教授の称号を贈ることとした。対象者は次の通り（敬称略）。

◆文学部＝田嶋一、千々和到、豊島秀範、宮元啓一◆法学部＝田中和子◆経済学部＝大坂健◆神道文化学部＝井上順孝

授与式は、渋谷キャンパスで6月6日に行われた。



田嶋氏



千々和氏



豊島氏



宮元氏



田中氏



大坂氏



井上氏

教員対象説明会 31年度の入試概要を解説

高校の教員を対象とした入試説明会が5月25日、渋谷キャンパス常磐松ホールで行われ、約180校から教員が参加した。

尾近裕幸入学担当理事・経済学部教授は、本学を取り巻く入試環境などを説明したうえで、「個別相談会では本学の入試に対して忌憚のない意見をいただきたい」と挨拶した。

続いて、針谷壮一入学試験委員長・文学部教授と入学課員から平成31年度入試制度についての説明をしたほか、教務課、キャリアサポート課員が本学の教育内容と就職支援体制について紹介した。

その後、本学教員による個別相談会が行われ、参加した高校教員が熱心に入試対策や学部学科の教育内容について尋ねる姿が見られた。



藤澤文学部教授に 国際浮世絵学会賞



藤澤氏

国際浮世絵学会は6月10日に法政大学で第20回春季大会を行い、第12回国際浮世絵学会賞を藤澤紫・文学部教授ら2人に贈った。

藤澤教授は、本学での浮世絵研究や教育活動のほか、浮世絵の啓蒙、普及に積極的に活動してきたことが高く評価された。

表彰式後、藤澤教授は「愛される『美人画』―暮らしとメディア文化―」と題して記念講演を行った。

教職員人事

採用

◎大学事務局◇嘱託▽柴田昌子（学生事務部 学生生活課学生相談室）

平成30年4月20日付

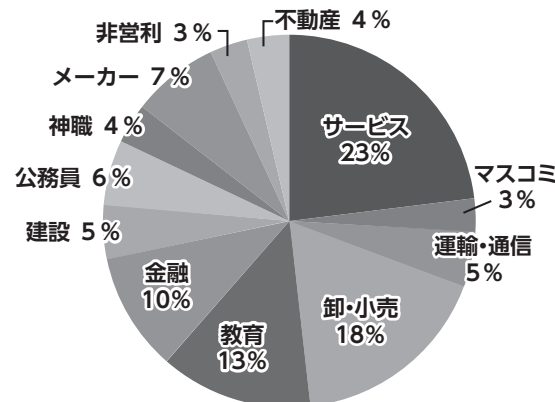
独自のキャリア支援が浸透

30年3月卒生 就職率96・5%

平成30年3月卒の本学卒業生の就職率は、前年度より2ポイントあまり上昇し96・5%と高い水準を維持した。売り手市場が続く中、本学が進める業界セミナーや内定者アドバイザーによる相談対応などキャリア支援の取り組みが学生たちに浸透してきたことがうかがえる。

公務員・教員への就職状況はほぼ例年並み。公務員は国家・地方合わせて112人。職種別にみると、昨年度より市役所・町村役場と警察が減少したが、国家公務員と都道府県庁上級で増加している。高等学校、中学校、小学校、幼稚園、保育園、特別支援学校を合わせた教員就職者は266人となった。このうち、各自治体による教員採用試験に合格し、公立小、中、高の正規採用となった者は83人だった。

神社関係では、117人の神



業種別進路比率（全学部）
※小数点以下は四捨五入

職資格取得者のうち、75人が神社界（実家が奉仕する神社を含む）に進んだ。6月からは1～3年生向けインターシップの受け付けが本格的に始まり、学内でも相談ブースが設置されている。就職活動期間が短くなり、就職活動解禁前のインターシップへの参加が年々重要になっている。キャリアサポート課では、3年生までにインターシップ参加20社を目標に、積極的な参加を推奨している。

成績優秀者奨学生表彰
54人を表彰

国学院大学は、平成30年度の成績優秀者奨学生54人を発表した。

同制度は、前年度特に優れた学業成績を修めた者を表彰し、さらにその能力を伸ばし勉学を奨励することを目的とする制度で、学部学生2年生以上を対象としている。

文学部、経済学部、法学部、神道文化学部学生の表彰式は、6月7日に渋谷キャンパスで行われた。人間開発学部は13日、たまプラーザキャンパスで行う。

赤井益久学長は「学生の本分を尽くした皆さんは立派だと思う。これを卒業まで続けて、周囲の人から信頼される魅力のある人にぜひなってほしい」と挨拶した。その後、各学部長から表彰状が授与された。奨学生を代表し、3年連続の表彰となった石澤菜衣子さん（史4）、増山正芳さん（神文4）が「表彰に恥じぬよう、今後ますます学問に真摯に向き合いたい」「建学の精神を噛みしめ、よりよい未来を切り開いていけるようさらなる努力を重ねる」と飛躍を誓った。



都内6カ所で「悪」をテーマに展示
博物館で初の試み

国学院大学博物館で、特集展示「悪—まっろわぬ者たち—」が6月1日から始まった。この企画は同一テーマのイベントを都内6カ所で一斉開催する新たな試み「多分野連携特集展示」の一つとして実施。連携する他館の入場券の半券を持参することで入場料や図録の相互割引もある。

5日に東洋文庫ミュージアムで行われた「悪人か、ヒーローか」の内覧会には笹生衛・国学院大学博物館長（神道文化学部教授）をはじめ各連携施設の代表者が集まり、テープカットをして、新しい試みの船出を祝った。本学博物館の特集展示は8月5日まで。連携する施設は次の通り（順不同）。

○太田記念美術館○東洋文庫ミュージアム○ヴァニラ画廊○国立劇場伝統芸能情報館○国立演芸場演芸資料展示室○銀座蔦屋書店



ミュージアムショップがオープン

国学院大学博物館内に6月4日、ミュージアムショップがオープンした。エントランスに新たに設けられたショップでは、同館で開催する展覧会の図録や関連書籍、大学オリジナルグッズなどを販売している。

オープン当日から早速来館者が足を止め、開催中の特別展「狂言—山本東次郎家の面—」の図録などを買い求める姿が見られた。

営業時間は、午前10時30分から午後5時30分まで。休業日は博物館に準じる。



平成29年度学校法人国学院大学決算は、監事および監査法人の監査を経て、5月29日に開催された理事会で承認、同日開催の評議員会に報告、了承された。

本決算は当年度からの5カ年計画となる「21世紀研究教育計画（第4次）」の最初の年度としての決算となった。大学をはじめとする全部門において、基本金組入前当年度収支差額が収入超過となり、法人全体では20億1800万円の収入超過となる数値で堅調な決算となった。

また、事業の重要度や優先順位を検証し、各事業が円滑に遂行できるよう財源配分を行う一方で、持続可能な経営環境を維持すべく、基本金をはじめとする財務基盤の安定的な構築を計画どおり実施した。

その結果、貸借対照表における資産規模も、総資産が1236億円を超え、そこに占める各種特定資産も堅調に積み増すことにより安定した財務基盤となる決算となっている。

なお、詳細についてはホームページを参照。

（財務部経理課）

資金収支計算書 平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

収入の部				支出の部			
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	13,721	13,741	△20	人件費支出	9,642	9,580	62
手数料収入	618	759	△141	教育研究経費支出	3,978	3,797	181
寄付金収入	570	570	0	管理経費支出	1,246	1,132	114
補助金収入	2,213	2,315	△102	借入金等利息支出	17	16	1
資産売却収入	0	0	0	借入金等返済支出	1,290	1,290	0
付随事業・収益事業収入	143	177	△34	施設関係支出	1,306	1,074	232
受取利息・配当金収入	146	187	△41	設備関係支出	487	381	105
雑収入	437	487	△50	資産運用支出	4,531	4,548	△17
借入金等収入	1,066	1,065	1	その他の支出	312	504	△192
前受金収入	2,426	2,580	△154	予備費	499		499
その他の収入	1,817	2,150	△333	資金支出調整勘定	△209	△438	229
資金収入調整勘定	△3,301	△3,412	111	当年度支出合計	23,099	21,884	1,215
当年度収入合計	19,856	20,620	△764	翌年度繰越支払資金	8,762	10,741	△1,979
前年度繰越支払資金	12,005	12,005					
収入の部合計	31,861	32,625	△764	支出の部合計	31,861	32,625	△764

事業活動収支計算書 平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

教育活動収支	事業活動収入の部	科目	予算	決算	差異	特別収支	科目	予算	決算	差異	
		学生生徒等納付金	13,721	13,741	△20		事業活動収入の部	資産売却差額	0	0	0
		手数料	618	759	△141		その他の特別収入	442	423	19	
		寄付金	169	162	7		特別収入計	442	423	19	
		経常費等補助金	2,193	2,312	△119		事業活動支出の部	資産処分差額	31	23	8
		付随事業収入	143	177	△34		その他の特別支出	0	0	0	
		雑収入	437	489	△52		特別支出計	31	23	8	
		教育活動収入計	17,280	17,640	△360		特別収支差額	411	400	11	
	事業活動支出の部	人件費	9,583	9,503	80	[予備費]	499		499		
		教育研究経費	5,608	5,436	172	基本金組入前当年度収支差額	740	2,018	△1,278		
		管理経費	1,389	1,277	112	基本金組入額合計	△3,719	△3,235	484		
		教育活動支出計	16,580	16,216	364	当年度収支差額	△2,979	△1,217	△1,762		
教育活動収支差額		700	1,424	△724	前年度繰越収支差額	△298	△298	0			
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	146	210	△64	基本金取崩額	16	27	△11		
		その他の教育活動外収入	0	0	0	翌年度繰越収支差額	△3,261	△1,488	△1,773		
	教育活動外収入計	146	210	△64	(参考)						
	事業活動支出の部	借入金等利息	17	16						1	
その他の教育活動外支出		0	0	0							
教育活動外支出計		17	16	1							
教育活動外収支差額		129	194	△65	事業活動収入計	17,868	18,273	△405			
経常収支差額		828	1,617	△789	事業活動支出計	17,128	16,255	873			

貸借対照表 平成30年3月31日

資産の部				負債及び純資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減	科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	112,477	109,883	2,594	負債総額	13,192	13,921	△729
有形固定資産	61,947	62,287	△340	基本金総額	111,941	108,733	3,208
特定資産	47,680	44,740	2,940	第1号基本金	96,082	94,674	1,408
その他の固定資産	2,849	2,856	△7	第2号基本金	2,100	2,300	△200
流動資産	11,168	12,473	△1,305	第3号基本金	12,707	10,707	2,000
				第4号基本金	1,051	1,051	0
				繰越収支差額	△1,488	△298	△1,190
				純資産の部合計	110,453	108,435	2,018
資産の部合計	123,645	122,356	1,289	負債及び純資産の部合計	123,645	122,356	1,289



今回のテーマ「古代文房具」は、平成26年に急逝された吉田恵二教授が取り組んだもので、講座当日に刊行された吉田教授の『文房具が語る古代東アジア』（同成社）も披露され、梶山林継名誉教授が「文字は大きな文化であるので、石の硯や墨まで広げた研究を続けていく必要がある」と締めくくった。

講座では深澤太郎・研究開発推進機構准教授が「文房具の研究は東アジアの国家形成過程を知る上で重要」と指摘。柳田康雄・同客員教授は、「弥生時代中期以降の北部九州には硯を使用する人々が存在した」と述べた。また、古谷毅・京都国立博物館主任研究員は、「古墳時代の漢字の使用は渡来人に依存していた」とする。山本孝文・日本大学教授は、「百済・新羅が、それぞれ中国南朝と隋唐をモデルにした硯を用いた背景には、政治的な関係性がうかがわれる」と指摘。青木敬・文学部准教授は、「都城・官衙では、文房具にも階層性があった」と報告した。

日本文化を知る講座
文房具から国家形成探る

国学院大学研究開発推進機構（根岸茂夫機構長）による第44回「日本文化を知る講座」が6月2日、渋谷キャンパス常磐松ホールで開催され、約200人が「倭・日本における漢字文化の受容と国家形成—古代文房具の考古学的研究から—」と題した5氏の講演に耳を傾けた。

0人が「倭・日本における漢字文化の受容と国家形成—古代文房具の考古学的研究から—」と題した5氏の講演に耳を傾けた。

若木育成会 本部総会を開催

事業計画などを承認



在学生の保護者らで組織される国学院大学若木育成会の全国支部長懇談会と本部総会が、5月19日に渋谷キャンパスで開催された。

本部総会では、加藤圭子会長が「今年度も学生の支援をしつつ、保護者の親睦も深めることができるよう皆さまの力を借りて活動していきたい」、赤井益久学長が「若木育成会の機会を利用して、親子関係、大学との関係を考えていただければ」とそれぞれ冒頭に挨拶した。議事



では、前年度事業報告と決算報告のほか、8月にかけて全国56会場で「支部の集い」を行うなどとした今年度の事業計画についての審議を行った。

役員選出では、加藤会長、今村充伸、堀江久教両副会長と3人の会計監査が再任された。3年連続で支部長を務めた2氏に対して、長年の活動への尽力をたたえる感謝状が贈呈された。その後、場所をグランドプリンスホテル高輪に移して、若木育成会本部総会懇親会が開催された。

懇親会開始のあいさつ、来賓の祝辞に引き続き、若木チャレンジ賞(5面参照)の表彰や強化部会の活動報告も行われた。

神道文化学部 観月祭に向け稽古始

恒例行事となった神道文化学部による観月祭が今年は10月20日に斎行される。5月16日に観月祭を担う有志の学生らが集まり、約5カ月に及ぶ稽古が始まった。学部を代表して茂木貞純教授が「来年は、新天皇陛下の即位の礼がある。雅楽や舞楽、神楽舞に今まで以上に関心が高まってくるだろう。それに応えられるように頑張してほしい」と挨拶。続いて楽曲の発表が行われ、担当ごとに稽古が始まった。

たまプラーザ宇宙の学校 9年目がスタート

人間開発学部とKU-MA(NPO法人子ども・宇宙・未来の会)、宇宙航空研究開発機構(JAXA)が共同で毎年開催している「たまプラーザ宇宙の学校」が、たまプラーザキャンパスで5月27日から始まった。

全5回からなるプログラムは、子どもたちに遊びを通じて科学を知ってもらうためのもので、今年で9年目となる。最初の講座では熱気球作りに挑戦し、校長役の柴崎和夫教授が熱によって空気が膨張する性質について説明した。

参加した子どもたちは、学生スタッフや保護者の手を借りながら熱気球がふわふわと浮かんでいく様子に大きな歓声をあげていた。



学生交流バスハイク 学部学年を超えて友達づくり

学生部が主催する学生交流バスハイクが5月27日に行われた。学生42人は、山梨に日帰りバス旅行へ。武田神社を参拝したほか、ハーブ石鹸づくり体験やサクランボ狩りで親睦を深めた。

今回の企画は、新年度を迎え学生同士の友達づくりの機会創出が目的。移動のバスの中では、クイズ大会などをして交流を図った。



ネイティブ講師と気軽に英会話

授業の合間に英会話を楽しみながら学ぶイングリッシュラウンジが渋谷キャンパスで5月10日から7月20日までの毎週木・金曜に行われている。

120周年記念1号館に新たに設けられたラーニングコモンズ(自習スペース)では、外国人講師が1回30分の講座を開き、最大10人の学生と英会話を行う。開始から1カ月あまりでのべ200人以上の学生が参加している。

開催時間は、①午前10時35分②11時25分③午後0時10分④0時55分⑤1時45分からいずれも30分。事前申し込みをせずに気軽に参加することができる。詳しくはランゲージ・ラーニング・センター☎03・5466・6744まで。



学問ノ道

第8回

●飯田町から渋谷へ、校地移転から95年

渋谷とともに歩み続ける

本学・国学院大学が、大正12(1923)年5月に発祥地の東京・飯田町(現、飯田橋)から現在地の渋谷に移転して、今年で95年になる。

校地移転の契機は、本学が9年に大学令大学に昇格し、名実ともに「大学」となったことにより、学生定員の増加と施設の一層の充実を期したことにあった。また、飯田町校地が甲武鉄道(現在のJR東日本中央本線)と、路面電車の江戸川線(昭和43年に廃止)に挟まれた場所であったため、講義の音が聞きとれないほど自動車や電車の騒音がひどかったことも、移転計画が持ち上がった背景の一つにあった。こうして、まとまった広さの敷地があり、かつ静寂な環境にある渋谷の水川裏御料地への移転が決定したのである。

新校地・新校舎での大学生活に、学内は光栄と喜びの念にあふれていた。折しも4カ月後に関東大震災が発生し、新校舎も損傷を

受けたものの、早急な復旧を果たすべく、新校舎の修理・修繕が直ちに着手された。校舎修繕の間には、本学の新たな象徴として、校旗と校歌の作製が進められた。現在、本学のスクールカラーとなっている赤紫色に染められた校旗は、学生の醸金によって調製されたものである。校歌は、当時の本学学長芳賀矢一の作詞、本居長世の作曲によるもので、最初の一節は、「みはるかすもの みな清らなる 渋谷の岡に大学たてり」と、「渋谷の岡」への移転が、本学の今後の発展を期して成し遂げられたとの思いが謳いあげられている。

現在の渋谷は、若者文化の発信地としてひろく一般に知られるが、一方で移転当時から本学をはじめ青山学院や実践女学校など多くの学校が立ち並び、今日も多くの文教施設が集合している全国有数の地域としての特色も持ち続けている。このような渋谷の歴



移転当初の渋谷新校舎

史に基づいて、本学では渋谷に関する全学的・学際的な研究教育を行う「渋谷学」の推進や、渋谷区および同区内の大学や企業との連携・交流を通じて、渋谷における地域文化の発展や地域社会の振興に貢献してきており、これからも本学は渋谷とともに歴史を歩み続けていくのである。

神道文化学部教授 齊藤智朗

平成29年度若木チャレンジ賞 3人・1団体が受賞

国学院大学若木育成会が、学業・スポーツ・社会貢献などで成果を上げた団体、個人を顕彰する平成29年度「若木チャレンジ賞」の表彰式が、5月19日グランドプリンスホテル高輪で開かれた同会本部総会懇親会の席で行われ、それぞれに表彰状と賞金が贈られた。

若木チャレンジ賞は部会、同好会、サークル活動などでベストを尽くし、立派な成績や結果をあげ、地道な活動ながらも在学生に誇れる「国学院魂」を示した団体や個人、あるいは、ボランティア活動など社会に誇れる活動をして本学の名を高めた団体や個人を表彰して顕彰するもの。受賞者と受賞内容は以下の通り。

- 《個人の部》(学年は応募当時・敬称略)
- ◆塚田大地(法3)「土浦市学修支援事業『つままる学習塾』での活動」
- ◆立原真凜(外文1)「越日文化交流フェスティバルでオリジナルダンスを披露」
- ◆柴田恵理(健体1)「ロープスキップingのアジア大会15歳以上のスピードリレーで大会新記録で優勝、全日本選手権大会15歳以上女子の部で全種目制覇など」
- 《団体の部》
- ◆国際交流サークル～優志～「大学生協で東南アジア料理を提供しカンボジアの里子支援のための養育費を寄付」



院友会 支部長会議を開催

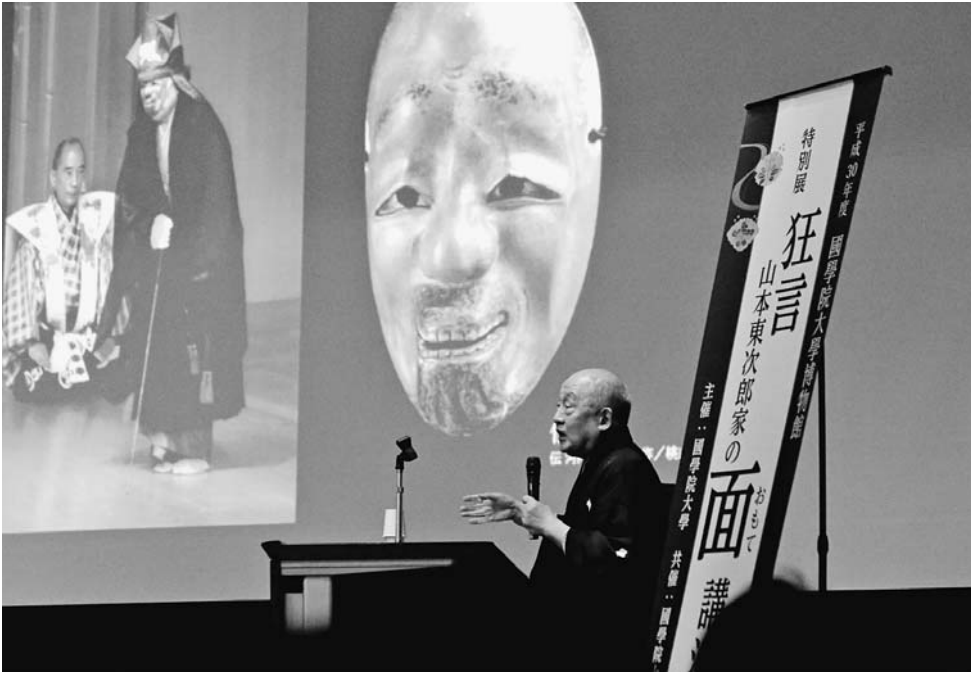
院友会支部長会議が、5月26日に渋谷キャンパスで行われ、全国各地の院友会支部から支部長らが出席した。佐藤美穂院友会副会長(昭41卒・74期文)の開会宣言の後、吉田茂穂同会長からは「昨年は発足130年を迎えた。次の大きな節目に向けて皆さまとともに進んでまいりたい。そのことが母校の役に立てば」と挨拶した。

会議では毎年恒例となったホームカミングデーの開催などについて院友会から報告された後、大学からの報告として入試や就職状況が説明された。

全国院友高等学校長会 教職を目指す学生を全面支援

全国院友高等学校長会総会が5月23日に渋谷キャンパスで行われ、院友の高等学校長22人のほか赤井益久学長らが出席した。五十嵐一郎会長(多摩大学付属聖ヶ丘高校長)の挨拶の後、赤井学長は「平成29年度、30年度に新たな教育プログラムをスタートさせている。勉強させる大学、本を読ませる大学でありたいと思っている」と本学の概況を説明した。

総会では、教職を希望する学生への全面支援を行うことが決定したほか、就職状況や入学試験状況の報告があった。総会終了後、教職希望在学生との懇談会が開かれ、在学生らは情報交換を積極的に行っていた。



院友で人間国宝の大蔵流狂言方、山本東次郎さん(昭36卒・69期文)による特別講演会が5月26日、渋谷キャンパスで開かれた。大蔵流狂言山本会の全面協力により特別展「狂言―山本東次郎家の面―」(7月8日まで)が同日から博物館で開催されているのに合わせて行われた。

講演会は、山本さんとの共著『中・高校生のための狂言入門』(平凡社)がある、院友で漫画家の近藤ようこさん(昭55卒・88期文)が聞き

手となり、対談形式で進行した。狂言面は能面に比べてあまり認知されていないものの、約200曲のうち3割ほどの演目で用いられている。山本さんは、展示されている山本東次郎家所有の面の数々を紹介。このうち、演目「靱猿」で使用される小さなサルの面「子猿」は、江戸時代に作られた子役専用のもので、山本さん自身も5〜7歳のときに使っていたという。面の内側は一般的に光の乱反射を避けるために黒の漆で固められているが、この面には子供が漆でかぶれないように墨が使われている。山本さんは「(制作から)400年もたちますが、作者の優しさに感服します」と語った。

この後、能の中で狂言方が受け持つ間狂言について解説。演目「船弁慶」を例に挙げて、落ち延びる牛若丸と弁慶を乗せる船頭の役柄をステージ上で演じ、聴講者を大いに沸かせた。



冒頭、院友会の吉田茂穂会長(昭41修・74期神専攻他、写真)は「『どうしても学校へ行きたい』との声にこたえていただき、院友大会をアリーナで開催できますこと、大変ありがたい」とあいさつ。続いて、赤井益久学長は他大学運動部の不祥事に触れ、「危機管理のあり方が問われている」とした上で、「院友会や若木育成会がしっかりと大学を支えてくれている。歴史と伝統に恥じない大学を目指す」と力を込めた。

恒例の「我が家は3世代国大生」の発表では、7組が表彰され、記念品の贈呈を受けた。今年、孫が入学したことから5代続けて国大生となった山名隆弘さん(昭39卒・72期史)は「大学は国学院しかない」という生き方をしていいる」と会場の笑いを誘った。

会の終盤、全学応援団が勢いのあるパフォーマンスを披露。会は盛況のうちに幕を閉じ、院友らは名残惜しうに母校を後にした。

今年度の院友大会が5月26日、130周年記念5号館「アリーナ」で開かれ、院友約370人が参加した。院友大会は昨年度、初めて渋谷キャンパス内で実施。好評を博したため、今年度も渋谷キャンパスを会場に行われた。

冒頭、院友会の吉田茂穂会長(昭41修・74期神専攻他、写真)は「『どうしても学校へ行きたい』との声にこたえていただき、院友大会をアリーナで開催できますこと、大変ありがたい」とあいさつ。続いて、赤井益久学長は他大学運動部の不祥事に触れ、「危機管理のあり方が問われている」とした上で、「院友会や若木育成会がしっかりと大学を支えてくれている。歴史と伝統に恥じない大学を目指す」と力を込めた。

恒例の「我が家は3世代国大生」の発表では、7組が表彰され、記念品の贈呈を受けた。今年、孫が入学したことから5代続けて国大生となった山名隆弘さん(昭39卒・72期史)は「大学は国学院しかない」という生き方をしていいる」と会場の笑いを誘った。

会の終盤、全学応援団が勢いのあるパフォーマンスを披露。会は盛況のうちに幕を閉じ、院友らは名残惜しうに母校を後にした。

特別展に合わせ講演会

山本東次郎さん「面」を語る

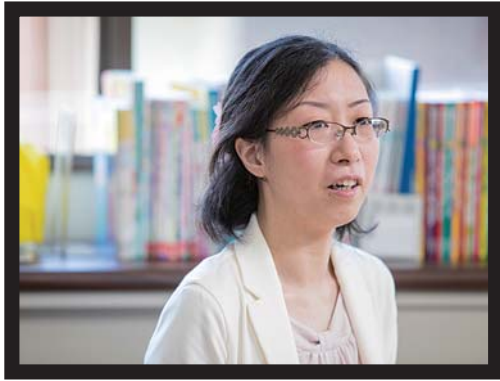
おもて

平成30年度 院友大会

世代間交流が活発に



子ども支援学科



山瀬 範子 准教授

子どもが育ちやすい社会づくりを

生涯を通して、人がどう生きていくかということを学ぶ人間開発学部の中で、子ども支援学科は平成25年に開設された新しい学科です。乳幼児期の育ちや発達を支援することに加え、育児をしやすく、子どもが育ちやすい社会づくりを応援していただけるような人材を育てています。保育士や幼稚園教員を志す学生はもちろん、PTAや地域の子育て支援などさまざまな形で子どもをサポートしたいと考えている学生が在籍しています。1年次から保育や教育の現場を経験する機会があり、学生は自分の性格や目標に合った現場で、子どもの成長や教員の仕事を学びます。最近では子どもを取り巻く環境が多様化するとともに、幼児教育・保育に求められるニーズも多様化しています。学生は幼稚園や保育所だけでなく、小学校や学童保育などのボランティアを通して幅広く子どもが育つ姿を見て、自分の進路を見つけています。

国学院大学の全体的な風潮といえる、「書くこと」をこの学科でも重視しています。実習期間は毎日、日誌を書きますし、子どもに分かりやすく説明すること、保護者に子どもの成長を伝えることなど言語化する能力はとても大切です。いろいろな本を読んで語彙力を身に付け、たくさん書く練習をしてほしいです。

2年前に卒業した1期生が始めた教材研究のサークル活動や、地域の子育て支援を行う方々との関係は今も続いています。最近では真面目でストイックな学生が多く、実習に向けて一生懸命に準備をして全力で取り組む姿が印象的です。

地域社会と子どもの関わりが希薄化しているといわれていますが、子どもと大人が共存するということを意識し、子育てを応援する気持ちを周りにつなげていただけるような人材を育成する場所でありたいと思っています。

やませ・のりこ
〔着任〕平成25年4月
〔専攻〕教育学、教育社会学

Department of Child Studies

健康体育学科



林 貢一郎 准教授

スポーツの知識で社会に貢献

健康体育学科は、子どもの教育に主眼を置く他の2学科とは少し違い、指導者という立場に軸足を置きつつ、スポーツ、体育、健康といったさまざまな面で人の役に立てる人材の育成を目指しています。保健体育の教員に限らず、アスリートのサポートやマネジメント、健康づくりの専門家ら学生の目指す進路の多彩な点が、他の2学科とは異なります。

人間開発学部ならではの教育を根本から学べる授業も多く、「人に教える」「人に伝える」という能力が身につきます。これにより、ただスポーツを教えるだけでなく、子どもや高齢者といった側の立場に立った指導ができるようになります。

ゼミの活動や実習を通して地域の方と関わる機会もたくさんあります。例えば、学生と一緒に開いている運動教室です。たまプラーザキャンパス周辺に住む方々に協力してもらい、体脂肪、筋肉量などを記録して健康増進の研究につなげています。スポーツクラブなどでのアルバイト経験がある学生も多く、教えるのが上手で感心します。

スポーツをすること、見ること、考えることが大好きでこの学科を選び、いろいろな分野の授業を受ける中で自分の興味に合うこと、やりたいことを見つける学生が多いです。一口にスポーツといっても、教育、生命科学、伝統文化、社会学、ビジネスなど教員の専門分野は多岐にわたるので、自分が本当に目指すものを見つけられるはずです。

高齢化が進むにつれ、健康の価値はより大きくなっていると感じます。私は長年、スポーツによる健康効果を研究していますが、そのメカニズムを解明することで社会の役に立ちたいと思っています。学生たちにも、スポーツの力で多くの人の幸せに貢献できることを伝えていきたいです。

はやし・こういちろう
〔着任〕平成22年4月
〔専攻〕運動生理学、健康科学、スポーツ医学

Department of Health and Physical Education

初等教育学科



寺本 貴啓 准教授

学生の就職先確保に責務

小学校教員の養成を主体とする初等教育学科は少人数制の「ルーム制」が特徴の一つです。学生約10人に教員1人の態勢ですから、目が行き届きやすく、こまめな指導が可能です。教員陣には学習指導要領の改訂や国の各種委員会の委員ら日本の学校教育の中枢に携わってきた専門が多く、「王道」の教育方法を学べます。

教育現場の即戦力になると1、2年次から教育インターンシップやボランティアで実践を積む学生が多く、大学側も後押ししています。こうして学生が築いた学校とのつながりは、3年次からの教育実習の際に大いに役立ちます。また、理科実験室や調理実習室など施設が整っていることも即戦力につながる良い環境といえます。

最近の学生は「教員になる」という目的意識が強く、真面目です。全ての時間を「教員になる」ために充てているように見えます。明確な目的意識を持つのは良いことです。ただ、学部創設当初の学生たちは挑戦的で、いろいろなことに取り組んでいたように思います。未知の新設学部でしたから、入学自体が挑戦だったのでしょう。

部・サークル活動、アルバイト、趣味…何でもいいです。学生には就職に向けた時間だけでなく、他にものめり込むものをつくってほしいと願っています。それは人間的な深みを育ててくれるはずです。人間開発学部の理念は「人の可能性を伸ばす」ことなのでから。

少子化により小学校教員の採用枠は10年後には激減しているでしょう。私たちには、「子どもの能力を伸ばす」技術で国学院の学生はすごいぞ」と言ってもらえるような人材を育てることが、より最重要課題となります。同時に、学生が望む出口、つまり就職先を確保する責務が一層重くなることを肝に銘じていきたいです。

てらもと・たかひろ
〔着任〕平成22年4月
〔専攻〕理科教育学、学習科学、教育方法学

Department of Elementary Education

学部10周年記念イベント

人間開発学部では、学部創設10年を記念して各種行事を開催する。詳細や申し込み方法は、随時大学ホームページなどで公表していく予定。

8月4日(土) 13:00~

人間開発学部創設10周年記念
教育実践総合センター第10回夏季教育講座
国学院大学特別支援教育実践フォーラム

講演「発達障害当事者と考える理解と支援」、ワークショップ

10月20日(土)

人間開発学会記念大会

決定次第、ホームページなどで公表予定

10月28日(日) 10:00~

※オープンキャンパス併催

人間開発学部創設10周年記念 共育フェスティバル

地域に育てられ、地域とともに育つ「共育」を実践する人間開発学部の学生と教員が、子どもたち向けのイベントを多数企画。

11月10日(土) 12:45~

人間開発学部創設10周年記念大会

①記念授業(浅野温子客員教授による特別授業)
②シンポジウム「人間開発学部10年の歩みと展望」
③祝賀会・懇親会

※学生から歌詞と音楽を募集して作成する「学部イメージソング」をお披露目する

11月予定

人間開発学部創設10周年記念
地域交流スポーツフェスティバル

専門的知識を学ぶ学生と教員が、「スポーツ科学を、もっと身近に」をテーマに、体力測定やスポーツ科学に関する体験ブース、栄養・体組成チェックブースなどを出展。

※場所はいずれもたまプラーザキャンパス

学部創設10年を記念してメッセージ募金を開始

学校法人国学院大学では、人間開発学部の教育研究活動の充実などのため、メッセージとともにご寄付を募る「人間開発学部創設10周年記念メッセージ募金」を本学寄付サイトで始めます。募金受付期間は平成31年3月31日まで。

「メッセージ募金」は、ホームページ上からメッセージを直接投稿してもらう仕組み。ワンコイン(500円)から寄付が可能で、メッセージはそのままホームページに公開されます(匿名可)。クレジットカード決済で、利用可能なクレジットカードは、VISA、MasterCardの2種類です。

※本法人への指定寄付金は税制上の優遇措置を受けることができます。募金に関する情報はホームページ(<http://kifu.kokugakuin.ac.jp/>)で閲覧できます



Tama Plaza Campus

人間開発学部創設10年

今年度で創設10年を迎えた人間開発学部。初等教育、健康体育、子ども支援の3学科は、それぞれが独自の教育プログラムを持って、「人を支える人」の育成を目指している。各学科の特色や学生気質、将来像などについて、若手教員3人に語っていただいた。

平成30年度 公開古典講座

	開講日	時間	内容	講師
源氏物語「夕霧」巻(前半)を読む	7月18日(水)	A B	講読1 夕霧、小野の里を訪問する	文学部教授・山田利博
	19日(木)	A	柏木の弟たち	フェリス女学院大学教授・竹内正彦
		B	「濡れ衣」の語誌	国学院大学栃木短期大学教授・林田孝和
	20日(金)	A B	講読2 夕霧、落葉の宮と歌を交わす	文学部教授・小田勝
	21日(土)	A	この山里に住みはてなむ―落葉の宮の願い―	文学部兼任講師・飯沼清子
		B	雲居雁の嫉妬	国学院大学栃木短期大学准教授・津島昭宏
萬葉集「巻十一」を読む	22日(日)	A B	講読3 雲居雁、夕霧から手紙を奪う	文学部教授・針本正行
	7月18日(水)	C D	朝、戸を出てゆくあなたへ 働くことと、恋すること―巻十二の世界―	奈良大学教授・上野誠
		C	巻十二の問答の歌	文学部教授・谷口雅博
	19日(木)	D	巻十二・三一五四番歌「いで我が駒」考―和歌と歌謡の交流―	文学部兼任講師・多田元
		C	恋ひ死ぬ	文学部教授・土佐秀里
	20日(金)	D	忘れ草・忘れ貝	
		C	部類歌巻―巻十二の編纂―	獨協大学特任教授・城崎陽子
	21日(土)	D	旅行く男と留守の女―巻十二の羈旅発思・悲別歌の世界―	早稲田大学教授・高松寿夫
		C	「物に寄せて思ひを陳ぶる」恋の歌（その一）（その二）	盛岡大学教授・大石泰夫
	22日(日)	D		

平成30年度 公開古典講座

- 昭和初期に開講した「萬葉講座」の流れを受け継いだ伝統ある講座を、今年度も上表の日程で開催します。国学院大学が最も得意とする古典文学作品の中から「源氏物語」と「萬葉集」にテーマを絞った短期集中型（夏期の5日間）の講座です。
- A＝9時30分～10時50分、B＝11時5分～12時25分、C＝13時10分～14時30分、D＝14時45分～16時5分
- 渋谷キャンパス常磐松ホール
- 各講座1日2000円、4日以上8000円
- 7月6日(金)必着。国学院大学(https://www.kokugakuin.ac.jp/general/eventlist/p2)から公開講座リーフレットを請求し、受講申請書に必要事項を記入して、(FAX03・5466・0528)または郵送(〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28 国学院大学エクステンションセンター)で※各講座とも先着300人。
- エクステンションセンター(☎03・5466・0270)

平成30年度 伝統文化に学ぶ講座

- 昭和25年に文部省（当時）の後援で始まった講座で、毎年夏のシーズンに伝統文化（古典文学・民俗学）をテーマとした横断型の1日集中講座です。今年度の講義内容（講師）は次の通りです。
- ▶1 講目「不覚」の最期の意味を問う－『平家物語』木曾義仲論－（文学部教授・野中哲照）
- 10時30分～12時
- ▶2 講目語り継がれる最古の古典－神話としての『古事記』－（研究開発推進機構助教・渡邊卓）
- 12時50分～14時20分
- ▶3 講目ものがたる美術－江戸絵画にみる『源氏物語』の受容－（文学部教授・藤澤紫）
- 14時35分～16時5分
- 7月29日(日)
- 渋谷キャンパス常磐松ホール
- 3000円
- 7月20日(金)までに、受講申込書に必要事項を記入し（FAX03・5466・

キャリアサポート

マナー研修

- 就職活動やインターンシップで必須条件のビジネスマナーについて、その重要性、敬語、電話対応から会社訪問・面接時の動作などを解説・実践します。

0528)または郵送(〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28 国学院大学エクステンションセンター)で。定員300人（先着順）。

- エクステンションセンター(☎03・5466・0270)

たまプラーザキャンパス 公開講座

- たまプラーザキャンパスを会場に毎年開催している講座で、文学、史学、宗教、教育、法律、経済など専門の分野からその時々タイムリーなテーマを題材に企画しています。今年度の講義内容(講師)は次の通りです。
- ▶1日目：9月12日(水)
- ①社会科観の転換―問題解決の授業を体験しよう！－（人間開発学部教授・安野功）
- ②A Iやロボットは心を持ちうるか？－「心の哲学」の観点から－（文学部教授・金杉武司）
- ▶2日目：9月13日(木)
- ①三島由紀夫が書くのを拒んだ「近江絹糸人権争議」（経済学部教授・本田一成）
- ②約束は必ず守らなければならない

進学相談会一覧（7月開催分）			
都道府県	都 市	会 場	日 付 時 間
宮 城 仙 台	仙台	仙台中小企業活性化センター（アエル）	7月1日(日) 12:00～17:00
福 島 い わ き	いわき	いわき産業創造館	7月2日(月) 15:30～18:30
福 島 郡 山	郡山	郡山商工会議所会館	7月3日(火) 15:30～18:30
福 島 福 島	福島	ネクストホール	7月4日(水) 15:30～18:30
東 京 池 袋	池袋	池袋サンシャインシティ	7月8日(日) 11:00～17:00
東 京 新 宿	新宿	新宿NSビル	7月9日(月) 14:00～17:00
東 京 有 明	東京	東京ビッグサイト	7月14日(土) 10:30～17:00
東 京 水 道 橋	水道橋	東京ドームシティプリズムホール	7月22日(日) 11:00～16:30
神 奈 川 横 浜	横浜	パシフィコ横浜	7月17日(火) 10:00～16:00
神 奈 川 横 浜	横浜	パシフィコ横浜	7月29日(日) 11:00～16:00
新 潟 新潟	新潟	新潟市産業振興センター	7月11日(水) 10:00～18:00
愛 知 名 古 屋	名古屋	名古屋国際会議場	7月16日(月) 11:00～16:00

幕末の俊傑 松浦武四郎

若木が丘 だより

研究開発推進機構教授 内川 隆志



今年で150年を迎える「北海道」の名付け親として知られる松浦武四郎（1818―1888年）は、17歳からの10年を諸国放浪に費やし、長崎でロシアの南下を耳にして以来、その眼差しは蝦夷地に注がれた。27歳から単独で彼の地を目指し、私人、幕府雇いとして計6回の蝦夷地探査をアイヌ民族の協力を得て敢行、蝦夷地の内陸部までくまなく記録した地勢図『東西蝦夷山川地理取調図』28巻を完成させた。維新後、明治政府から正式に蝦夷開拓御用掛、開拓判官の命を受け、開拓大典の要職に就くも、アイヌ民族擁護の立場から利権を手放さない体制への不満と開拓使内部の腐敗を理由に職を辞した。市井に下った後の人生は、一転文化財擁護の立場から古物蒐集家としての道を邁進した。

好古家武四郎の歩みは、政府が西洋の博物館の仕組みに気づき始めた時期と重なる。モノ集めの殿堂である博物館は、

今年で150年を迎える「北海道」の名付け親として知られる松浦武四郎（1818―1888年）は、17歳からの10年を諸国放浪に費やし、長崎でロシアの南下を耳にして以来、その眼差しは蝦夷地に注がれた。27歳から単独で彼の地を目指し、私人、幕府雇いとして計6回の蝦夷地探査をアイヌ民族の協力を得て敢行、蝦夷地の内陸部までくまなく記録した地勢図『東西蝦夷山川地理取調図』28巻を完成させた。維新後、明治政府から正式に蝦夷開拓御用掛、開拓判官の命を受け、開拓大典の要職に就くも、アイヌ民族擁護の立場から利権を手放さない体制への不満と開拓使内部の腐敗を理由に職を辞した。市井に下った後の人生は、一転文化財擁護の立場から古物蒐集家としての道を邁進した。

好古家武四郎の歩みは、政府が西洋の博物館の仕組みに気づき始めた時期と重なる。モノ集めの殿堂である博物館は、

本紙へのご感想をお待ちしています

「国学院大学学報」では、読者の皆さまからのご意見・ご感想を募集しています。定期的に本紙にて「読者の声」を紹介していく予定です。掲載された方には、本学オリジナルグッズを進呈いたします。ご投稿は以下の要領でお願いします。

①今号の満足度5段階（低1～5高）②本紙へのご意見③住所④氏名⑤所属など（在学生の場合〈学科・学年〉、保護者、院友〈本学卒業生〉、本学・本法人教職員、その他いずれか）を明記の上、ハガキ・FAXで国学院大学広報課（連絡先は1面参照）までお送りください。また、QRコードよりEメール作成画面を開くことができます。なお、お送りいただいた方の個人情報保護法に基づいて取り扱いいたします。



※お寄せになられた原稿・お便りは返却いたしません

インフォダイジェスト

… 在学生

… 保護者

… 卒業生

… 一般

… 受験生

■内容

■日にち

■時間

■場所

■対象

■申し込み

■料金

■問い合わせ

大学からのお知らせ

夏季休暇や秋の行楽に大学厚生寮を

夏季休暇や秋の行楽シーズンに国学院大学厚生寮をご利用ください

■長野県立科町にある蓼科寮は、セミナーハウス機能やバーベキュー棟も備えた厚生寮です。白樺湖や蓼科牧場など豊かな自然に囲まれ、周辺には美術館や温泉施設もあります。

■学生・教職員は 1 泊 2 食2500円（利用限度 3 泊 4 日）。

■学生・院友・教職員

■▶学生＝学生生活課（☎03・5466・0145）

▶院友・教職員＝人事課（☎03・5466・0105）

※空室状況は大学ホームページ(<https://www.kokugakuin.ac.jp/student/lifesupport/p9>)で確認できます

レポート、試験準備に図書館を日曜開館します

■レポート作成期、前期試験期に伴い、7 月の下記日曜日、渋谷・たまプラーザ両図書館を開館します。ぜひご利用ください。

■・■▶渋谷：1・8・15・22・29 日の 10 時～18 時 ▶たまプラーザ：1・8 日の 9 時～16 時30 分(15・22・29 日は休館)

※16 日(祝)は授業実施日のため両図書館とも平常通りに開館します

■在学生

■図書館事務課（☎03・5466・0159）

高校生向けコンテスト作品募集



■国学院大学と高校生新聞社では、第 22 回全国高校生創作コンテストならびに第 14 回「地域の伝承文化に学ぶ」コンテスト(いずれも国学院大学若木育成会、国学院大学院友会、国学院大学北海道短期大学部協賛)の作品を次の要領で募集します。

- ①全国高校生創作コンテスト
- 【部門】
- ▶短篇小説の部（1 人 3 篇以内＝1 篇4000 字以内）
 - ▶現代詩の部（1 人 3 篇以内＝1 篇 45 行以内）
 - ▶短歌の部（1 人 3 首以内）
 - ▶俳句の部（1 人 3 句以内）
- ※各部門とも専用の応募用紙、また

は A 4 サイズの用紙で提出。封筒には必ず「○○部門作品在中」と記入してください

【表彰】最優秀賞（各部門 1 人、賞状・副賞 5 万円・記念品）、優秀賞（各部門 2 人、賞状・副賞 3 万円・記念品）、佳作（各部門 5 人、賞状・副賞 1 万円相当の図書カード・記念品）、文部科学大臣賞（1 校、賞状・副賞 5 万円相当の図書カード・記念品）

②「地域の伝承文化に学ぶ」コンテスト

【部門】

- ▶地域文化研究部門（祭り・伝統行事・郷土料理・方言などの調査研究＝個人・団体）
- ▶地域民話研究部門（昔話・伝説など民話の調査研究＝個人・団体）
- ▶学校活動部門（学校や部、クラスなどの活動として地域研究活動の実践報告）

※レポート枚数自由（ただし A 4 サイズの用紙を使用）、映像の場合は 15 分以内で提出。地域文化・地域民話の両部門は封筒に「○○部門個人または団体応募作品在中」と記入してください

【応募期間】7 月 2 日(月)～9 月11 日(火) 必着

【応募条件・概要】

- ▶高校生であること
- ▶自作未発表のもの

【応募方法】

《個人》郵便番号・住所・氏名・学年・性別・電話番号・高校名・担当教諭名を記入し、応募の動機、コンテストをどこで知ったかを書き添えてください。

《学校》高校名・郵便番号・所在地・担当教諭名・電話番号・応募者氏名・学年・性別を作品ごとに記入し、応募の動機も書き添えてください。

【応募先】〒194-0022 東京都町田市森野 1-34-10 高校生新聞社コンテスト事務局「第 22 回全国高校生創作コンテスト係」または「第 14 回『地域の伝承文化に学ぶ』コンテスト係」へ郵送か、メール（✉contest2018@sclpa.jp）で

【表彰】地域文化研究部門・地域民話研究部門：最優秀賞（個人・団体各 1 作品、賞状・副賞 5 万円・記念品）、優秀賞（個人・団体各 2 作品、賞状・副賞 3 万円・記念品）、佳作（個人・団体各 2 作品、賞状・副賞 1 万円相当の図書カード・記念品）▽折口信夫賞：1 作品（賞状・研究費 5 万円・記念品）

【発表】11 月中旬に入賞者に通知、主催者ホームページでも公表します。

■高校生新聞社コンテスト事務局（☎042・724・2750 fax042・724・2860）

平成31年度 大学院秋季入試日程							
研究科	区 分	専 攻	募集人員	出願受付期間	試験日・ 合否発送日	入学手続期間	
文学	前期	一般	神道学・宗教学	10人	9月13日(木) ～21日(金)	【試験日】 10月6日(土) 【合否発送】 10月10日(水)	【1次手続】 10月15日(月)～22日(月) 【2次手続】 平成31年2月23日(土) ～3月1日(金)
		留学生	文 学	15人			
			史 学	20人			
			神道学・宗教学	若干名			
		学内成績 選 考	文 学				
			史 学				
	社会人		神道学・宗教学				
		文 学					
		史 学					
	後期	一般	神道学・宗教学				
			文 学				
			史 学				
留学生		神道学・宗教学					
		文 学					
		史 学					
社会人	神道学・宗教学						
	文 学						
	史 学						
法学	前期	一般	法律学	5人	8月31日(金) ～9月13日(木)	【試験日】 9月29日(土) 【合否発送】 10月2日(火)	【1次手続】 10月5日(金)～12日(金) 【2次手続】 平成31年2月23日(土) ～3月1日(金)
		留学生		若干名			
		学内成績選考※					
		社会人					
経済学	前期	一般	経済学	5人			
		留学生		若干名			
		学内推薦					
		社会人					

※法学研究科(前期課程)学内成績選考の秋季募集は4年次在学者に限る

※お知らせいただいた個人情報は、主催者において本コンテストの審査、本人および学校への連絡や資料の発送に利用いたします。なお、個人情報を第三者に提供することはありません。応募作品は、当主催者に版權を帰属し、返却いたしません

平成31年度 大学院秋季入試

■国学院大学大学院では、上表の日程で平成31年度の秋季入試を実施します。7 月 7 日(土)には渋谷キャンパスで進学相談会を開催します。詳しくはお問い合わせください。

■大学院事務課（☎03・5466・0142）

平成31年度 推薦入試・特別選考入試

■国学院大学では、下表の日程で平成 31 年度の推薦入試・特別選考入試を実施します。

■入学課（☎03・5466・0141）

夏期休暇の海外旅行へ出かける前に

近年、世界各地で無差別テロや日本人をターゲットとした誘拐などが多発しています。また、地域によっては感染症の恐れもあります。

夏期休暇を利用して海外旅行する際は、外務省の海外安全情報のチェック、日本大使館など現地の緊急連絡先の確認、家族・知人への旅行日程・連絡先の伝達と密な連絡、海外旅行保険への加入を忘れず、トラブル回避と安全確保を心掛けてください。いざという

時に在外公館から緊急情報提供を受けられる「たびレジ」(<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>) への登録をお願いします。

イベント 30

シリーズ講座 スポーツから学ぼう!!

■スポーツは、「する」「観る」「視る」「読む」「支える」「話す」「書く」等、多様な関わり方ができます。年齢や性別、心身のハンディキャップに関係なく、誰もが生涯を通してスポーツと関わりを、自分のライフステージに合わせて実践する事が可能です。スポーツとの関わりが生活の中で生きがいとなるよう、一緒にスポーツの力を学びましょう！

■7 月 14 日、8 月 4 日、9 月 22 日、1 月 12 日、2 月 16 日の土曜日(全 5 回)

■10 時～11 時

■たまプラーザキャンパス（教室は当日掲示）

■中学生以上（定員 30 人）

■大学ホームページ(<https://www.kokugakuin.ac.jp/event/41500>)、または F A X(講座名・氏名・年齢・性別・電話番号・住所・メールアドレス明記)で、人間開発学部地域プロモーションセンター(☎045・904・7707)へ

■人間開発学部地域プロモーションセンター（☎045・904・7707 ✉kchpc@kokugakuin.ac.jp）

入試制度	学 部	募集人員	出願期間(最終日消印有効)	試験日	合格発表日	入学手続期間(最終日消印有効)
神道・宗教特別選考[Ⅰ期]	神道文化	47人	9月19日(木)～26日(木)	10月21日(日)	【1次】10月10日(木) 【最終】11月1日(木) 11月1日(木)	【1次】11月2日(金)～9日(金) 【2次】11月22日(木)～29日(木)
神職養成機関(普通課程)特別選考	神道文化	2人				
院友子弟等特別選考	全学部	40人	【1次出願】9月3日(月)～10日(月) 【2次出願】10月9日(火)～15日(月)	11月11日(日)	【1次】9月26日(木) 【最終】11月21日(木)	11月22日(木)～29日(木)
公募制自己推薦(AO型)	文・神道文化・法・人間開発	138人	9月26日(木)～10月3日(木)	11月11日(日)	【1次】10月19日(金) 【最終】11月21日(木)	11月22日(木)～29日(木)
	経済	42人	9月19日(木)～26日(木)	10月21日(日)	【1次】10月10日(木) 【最終】11月1日(木)	【1次】11月2日(金)～9日(金) 【2次】11月22日(木)～29日(木)

KSPIRITS — 全国学生フラメンコ連盟会長 山口千晶さん(外文3) —

フラメンコで最高の瞬間を作りあげる

スペイン・アンダルシア地方発祥の民族舞踊フラメンコ。ギターと歌、そしてパルマという手拍子に合わせて舞う華やかで情熱的な踊りは、誰もが一度は目にしたことがあるだろう。フラメンコ愛好者の学生が集う全国学生フラメンコ連盟には全国13大学約250人が所属しており、本学のフラメンコサークル「Rojos Pimientos」も所属している。連盟で会長を務める山口千晶さん(外文3)に会長としての活動について聞いた。

(取材) 山本

全国のダンサーと同じ舞台に

連盟の活動の柱は、8月に行われる全国大学フラメンコフェスティバルin館山(以下フラメンコ週間)と3月の東京公演。フラメンコ週間とは、「南米風のまちづくり」というコンセプトを打ち出す千葉県館山市の援助を受けて行う6日間の発表合宿だ。サポートしてくれる市職員や参加するプロのギタリストとの連絡から舞台の構成まで、学生たち自らが考える。期間中には、花火を背に舞う「花火とフラメンコ」など多数の催しが行われ、全国から集まったダンサーが一つの舞台に立つ。山口さんは1年生で初めて参加したフラメンコ週間を「人生で最高の瞬間なのではないかと思うくらい楽しかった」と語る。普段は会うことのできない仲間たちや地域の方と舞台を作り上げた



ことに充実感を覚えた。そんな合宿を後輩にも経験してもらいたいという思いから会長に立候補した。

成長を感じながら

会長になって初めて運営したのは、4年生にとっては最後の舞台となる今年3月9日の東京公演だった。公演は成功したが、山口さんは会長としての至らなさを思い知らされたという。ほかの幹部の動きを把握しきれなかったり、うまく周囲に頼れずに仕事を抱え込み、精神的に追い込まれたりした。なによりフラメンコを踊ることに集中できなかったことがつらかったという。この苦い経験をフラメンコ週間に生かそうと、山口さんは幹部に積極的に声をかけ、徐々に周囲の学生とともに進めることができるようになってきた。

事務作業も多く華やかとはいえない会長という仕事だが、その中で彼女は着実に成長している。「初対面の人とも物おじせずに話せるようになったし、全体を見渡して指示を出せるようになった」と山口さんは語る。学生だけではなく、公演に出演してもらうプロのギタリストや歌手、支援してくれる人々と連絡を取る中で人とコミュニケーションをとることが得意になったという。



今年のフラメンコ週間は8月7日から12日まで。山口さんは最高の瞬間を踊り手にも観客にも届けられるように準備を進めている。学生ダンサーの夏はもう始まっている。

第24回全国大学フラメンコフェスティバルの詳しいスケジュールは館山市のホームページで7月中旬公開予定
<http://www.city.tateyama.chiba.jp/index.html>

柔道部

東京学生柔道優勝大会 接戦の末ベスト16

東京学生柔道優勝大会(東京学生柔道連盟主催)が5月27日、東京都千代田区の日本武道館で開催され、本学柔道部は4年連続のベスト16で大会を終えた。会場では健闘した選手たちに、チームメートや保護者から大きな拍手が送られていた。

大会は7人による団体戦。本学柔道部は2回戦から出場し、初戦の明星大学戦は全員が一本勝ちを収め、7勝0敗で圧倒した。

ベスト8入りをかけた3回戦は強豪、日本体育大学と対戦。中堅までの4人を終えて0勝1敗3分けと後がない中、三将戦で山本瑛介選手(健体1)が一本勝ちした。続く副将戦は、国際大会でも活躍する二見省吾選手(経済4)が果敢に攻めたが惜しくも敗れて1勝2敗3分けに。

最後の大將戦は、昨年のユニバーシアード競技大会男子60kg級で優勝した藤阪泰恒選手(健体4)が登場。体重の勝る相手に引けを取らない接戦を展開したものの、引き分けに終わり、1勝2敗4分けで敗退した。

本学柔道部は、6月23、24の両日に日本武道館で行われる全日本学生柔道優勝大会への出場権を獲得した。



藤阪選手



山本選手

団体・個人の成績

蹴球部＝東京都大学サッカーリーグ戦 1 部は、6 月 3 日までに第 7 節までを終了。蹴球部は 2 勝 5 敗・勝ち点 6 で 7 位（全 10 校中）としている。

3 日に行われた上智大学戦では、前半を 2－1 で折り返すと、途中出場の東奥祐介選手（経 1）が 2 得点を上げるなどゴールを量産。6－1 で勝利した。

剣道部＝第 64 回関東学生剣道選手権大会が 5 月 13 日に日本武道館で行われた。剣道部男子では、保坂一樹選手（日文 3）の 3 回戦進出が最高だった。

第 50 回関東女子学生剣道選手権大会が 19 日に東京武道館で行われ、剣道部女子では、茂呂澤佑香選手（健体 2）と杉本唯子選手（初教 3）の 4 回戦進出が最高だった。

バスケットボール部＝第 67 回関東大学バスケットボール選手権大会が 4 月 21 日から 5 月 6 日にかけて行われた。バスケットボール部男子は、1 回戦で群馬大学を 124-75、2 回戦で亜細亜大学を 97-74 で勝利したが、3 回戦の上武大学戦は 66-74 で敗れた。

強化部会主なスケジュール(7月)

柔道部＝東京都ジュニア柔道体重別選手権大会 個人戦（7／8(日) 9：30～・東京武道館）

卓球部＝第 88 回全日本大学総合卓球選手権大会 団体の部（7／12(木)～15(日)・墨田区総合体育館）

ソフトテニス部＝第 68 回東日本大学対抗ソフトテニス競技大会（6／30(土)～7／1(日)・千葉県長生郡白子町中里サニーテニスコートほか）、第 61 回東日本学生ソフトテニスシングルス選手権大会（7／2(月)・同）、第 73 回東日本学生ソフトテニス選手権大会（7／3(火)～4(水)・同）、第 73 回東日本ソフトテニス選手権大会（7／14(土)～15(日)・茨城県神栖市海浜運動公園テニスコートほか）

KSPIRITS ― 国大生バンド「トラベリング」―

夢は3人で「武道館」！



メンバーいわく「たまたま」が重なって結成された国大生ロックバンド「トラベリング」。「夏フェスに出る！」との目標を掲げながら、その先に「多くの人に認めてもらい、日本武道館のステージに立ちたい」と夢を膨らませ続ける。

国学院大学栃木高校で同級生だった野尻直希さん（法 3、ギター＆ボーカル、写真右）と村上秀泰さん（経営 3、ドラム、同中央）は、テニス部で共に汗を流しながら「大学に入学したらバンドをやるう」と語り合った。その 2 人が長谷川千春さん（史 3、ベース、同左）と出会ったのは、「たまたま」同じ大学の軽音楽サークル「KMG」に入ったから。ベース奏者を探していた野尻さんが声を掛け、「音楽の方向性とか難しいことではなく、ただ一緒にやろう」（長谷川さん）と、バンド結成が決まった。

そんなメンバー 3 人の音楽経験はバラバラ。「小学校の 6 年間、ピアノを習っていた」という村上さんに対し、野尻さんは「たまたま親が買ったギターがあったので、高校の夏休みに先生について習った」という。長谷川さんは小中学校の吹奏楽部でホルンを吹いていた。しかし、「吹奏楽では自分が表現できない」と高校で軽音楽部に入り、ほぼ独学でベースを習得したそうだ。

バンド初心者 of 村上さんが、それまで触れたこともなかったドラムを受け持つことになったのも、「たまたま他にやりたい楽器がなかったから」という。

動画サイトを“先生”に、イチから叩き方を覚えた村上さん。「ひたすら緊張した」という初ラ

イブは、結成からほんの数カ月後の 8 月のことだった。下北沢の「レグ」というライブハウスで「今でもホームグラウンドですが、初ライブの時から店のスタッフさんからアドバイスをもらえた」（野尻さん）、「ステージでの MC の繋ぎ方なども教わった」（長谷川さん）と感謝の言葉しかない。

他バンドのコピーから入った「トラベリング」も、今やオリジナル 9 曲を持つまでに。男子 2 人が曲作りを受け持ち、長谷川さんもアレンジで曲に磨きをかける。「長谷川さんが加わったことがうちのバンドの特徴になった。男声＋女声の『3 人で歌う』スタイルが強み」と野尻さんは強調する。ライブハウスで活動するバンドとしては珍しい男子 2＋女子 1 のメンバー構成だが、その息はピッタリと合っている。

「男 2 人がバンド初心者なので、悩む部分は多かった」（男子 2 人を）『ダメじゃん！』なんて思ったことはない。私もちゃんとしたバンドは初めて」「ここまで 3 人で続けてこられたことが楽しいうれしい」

3 人の言葉はさまざまだが思いは一つ。「観客がノってくれることが糧。このまま 3 人で進みます」

卓球部女子

初の1部残留

関東学生卓球春季リーグ戦が 5 月 11 日から 26 日にかけて港区スポーツセンターなどで行われた。昨春以来 3 回目の 1 部昇格となった本学卓球部女子は、創部以降初めての 1 部入賞をかけての戦いとなった。

4 勝を挙げたチームが勝ちとなる団体戦で本学卓球部女子は、開幕から 5 連敗。第 6 戦の東京富士大学との試合（25 日）は、1

試合目で主将の小島悠夏選手（初教 4）が最終の第 5 ゲームまでもつれながらも接戦をものにすると、その後は阿部里歩選手（神文 1）・小島叶愛選手（初教 1）の 1 年生ペアら下級生が勢いに乗り 4－1 で今季初勝利を挙げた。

26 日行われた 1 部残留をかける最終戦の筑波大学戦も一進一退の攻防が続く展開に。5 試合目を終えて 2－3 と後がない展開となったが、小島叶選手、長尾真由選手（経ネ 4）がそれぞれストレート勝ちで逆

転し 4－3 で 4 時間近い試合を制した。

最終成績は 2 勝 5 敗・6 位となり、初の 1 部残留となった。

2 部に所属する男子は、3 勝 2 敗で 3 位だった。



小島叶選手(左)と阿部選手



小島悠選手

ソフトテニス部

春の大会で活躍

関東学生ソフトテニス春季リーグ戦が 5 月 12、13 日に白子サニーコート（千葉・白子町）で行われた。1 部に所属する本学ソフトテニス部男子は、2 勝 3 敗で 3 位（全 6 校中）、2 部に所属する女子は、3 勝 2 敗で 3 位（全 6 校中）だった。

翌 14 日に行われた同シングルス選手権大会では、23 人が出場。谷岡凌太郎選手（健体 2）がベスト 16 に入り、8 月

に岡山県で行われる全日本学生ソフトテニス大会（インカレ）の関東学連推薦枠を獲得した。15、16 日に行われた同ダブルス選手権大会で

は、濱野達哉選手（健体 3）・佐藤勇乃介選手（経 2）ペアがベスト 8、井上太晴選手（健体 4）・佐藤大和選手（同 1）ペアがベスト 16 に入り、インカレの関東学連推薦枠を獲得した。



1 部 3 位の男子チーム



2 部 3 位に入った女子チーム

K:DNA——創立136年目を迎えた国学院大学の**遺伝子**…個人・個性を尊重する校風 若いエネルギーが未来を変える
●編集 総合企画部広報課／学生アドバイザーメディアチーム [尾澤桃子 (法4) / 本間由 (日文4) / 柳下桂一郎 (史4) / 後藤哲治 (日文3) / 山本莉紗子 (外文3) / 石原礼菜 (日文2)]

硬式野球部

東都大学野球春季リーグ2位
5選手が個人表彰

東都大学野球春季1部リーグは全日程（4月9日～5月31日）を終了し、本学硬式野球部は7勝4敗、勝ち点3、勝率.636で2位に終わった。駒澤大学戦（4月17、19両日）をストレートで退けて迎えた東洋大学との1回戦（同24日）は逆転負け。2回戦（同26日）では相手に先行を許したものの、中盤から粘りを見せ、勝利した。西丸泰史主将（経ネ4）は「自分たちがやってきた野球、あきらめない気持ち、練習の成果が出せた試合だった」と振り返る。3回戦（同27日）は、唯一許した本塁打により0－1と敗戦。



最優秀防御率賞の清水投手

「一球の重みを知った」（西丸主将）試合となった。中央大学戦（5月8、11両日）で勝ち点1を取ったものの、亜細亜大学戦（同15、16両日）は連敗。立正大学戦（同22、24両日）は連勝し勝ち点1を獲得し、全試合を終えて暫定1位で最終週を迎えた。最終日（同31日）、本学に15季ぶり2度目の優勝の期待が高まったが、勝ち点で並ぶ東洋大学が亜細亜大学から2勝目を挙げて3季連続19度目の優勝を決めた。本学からの個人表彰は、最優秀防御率賞に防御率1.75を記録した清水昇投手（日文4）、新人賞に外野手の川村啓真選手（経1）がそれぞれ

平成30年度東都大学野球春季1部リーグ結果						
順位	大学名	勝ち数	負け数	分け数	勝率	勝ち点
1	東洋大学	8	5	1	0.615	4
2	国学院大学	7	4	0	0.636	3
3	駒澤大学	6	4	1	0.600	3
4	亜細亜大学	6	7	0	0.462	2
5	立正大学	4	7	0	0.364	2
6	中央大学	4	8	0	0.333	1



新人賞の川村選手

選出。ベストナインに三塁手の伊藤雅人（経ネ3）、遊撃手の小川龍成（健体2）、外野手の鎌仲純平（健体3）の3選手がいずれも初めて選ばれた。

「一球の重み」に雪辱誓う



西丸主将「新チームのスローガンは『俺がやる』。主体性を大切にする考え方が練習にも反映されて結果につながった。秋に向け、『一球の重み』を意識して練習の質を高めたい」



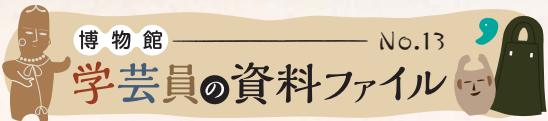
清水投手「4年目の集大成が出せた。他大学の投手も4年生が多く、『負けられない』と志を強く持って臨んだシーズンだった。チームに貢献できた結果が受賞につながったと思う」

陸上競技部

関東インカレで好成績

第97回関東学生陸上競技対校選手権大会（関東インカレ）が、5月24日から27日まで相模原ギオンスタジアムで行われた。2部に所属する本学陸上競技部は、男子800m決勝で佐々木亮介選手（神文2）が2位、同5000m決勝で浦野雄平選手（経営3）が3位に入るなど好成績を収めた。佐々木選手は、予選、準決勝を1位で通過。決勝では、レース終盤に先頭に躍り出た

が後続にかわされ1分53秒67で2位に入った。5000mで3位に入った浦野選手はハイペースでレースが進む中、外国人選手に挑戦。日本人トップを走っていましたが最後にかわされ日本人2位となった。この他、1万m決勝では、主将の土方英和選手（健体3）が29分25秒22で、日本人で3番目となる6位入賞だった。



有栖川宮家と御縁の深い国学院大学は、同宮家伝来の品々を所蔵しています。写真の資料は、「芝山」と名づけられた、螺鈿細工で菊と蝶が描かれた印籠です。菊の花をモチーフにした根付けと珊瑚の緒締が付属しています。印籠を収める箱には、有栖川宮熈仁親王の弟宮である慈性入道親王（精宮）が、幕末に仕事で赴いた京都で土産として購入し、兄宮に進呈した旨が書かれています。
展示案内：本資料は、常設展（校史展示室）でご覧いただけます。
ウェブサイト案内：<http://museum.kokugakuin.ac.jp/>

今月の資料

い かけ し きくちょう ず ら でん いんろう めい し ば や ま
沃懸地菊蝶図螺鈿印籠 銘 芝山



お詫びと訂正

前号の本コラムの解説で「正五九の**見立**」とあるのは「正五九の**みたて**」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。